

五泉市小教研 教育課程部会の取組および報告

活動のねらい

特色ある学校づくりに向けた教育課程の編成について、具体的な取組の情報交換を図る。

内容

五泉市小教研総会および各部長会をふまえて、「教育課程部会」の活動内容を決定した。全3回の部会の活動内容は、次のとおり。

- ① 新教育課程完全実施における運営上の問題点、初年度に生じるとと思われる課題等について研修
指導者：五泉市教育委員会 指導主事 中原広司 様
- ② 各校の教育活動の改善に向けて、年間指導計画等の資料に基づいた情報交換
- ③ 次年度の教育課程編成および特色ある学校づくりについての全体協議

成果

- ・ 第1回部会では学習評価や指導要録についての留意点、教育課程の評価・改善についての視点、学力向上につながる小中連携のあり方などの研修を行った。これにより、基本的かつ重要な事項をしっかりと押さえて、第2回以後の部会の活性化が図られた。
- ・ 外国語活動の実施状況を共通理解し、学習活動に対する評価のあり方を話し合った。さらに、通知表ではどのように所見欄を位置付けているか、所見文の分量はどの程度かなどを意見交換した。
- ・ 学校行事については各校とも教育的効果を吟味して、精選に努めている。情報交換を通じて、精選する際の留意点について示唆を得た。
- ・ 複数パターンの時間割を用い、年間を通して必要な授業時数を確保する工夫が紹介された。
- ・ 上記に関連して、委員会活動・クラブ活動の時間を確保する一方、それらがなくなるときに教科等を入れ込むべきか（授業時数の確保のため）。余剰時数をどれだけもつか、教材研究・研修の時間などを優先するか等で賛否が分かれた。

課題

- ・ 来年度から小学校2校が新設1校に統合される。今後も小学校連携を大切にしていかなければならない。小規模校もあることから、中学校区内の小学校どうしの合同学習（演劇鑑賞など）を計画的に配置する工夫が望まれる。
- ・ 五泉市では各校のモデル版となるような「年間指導計画」は作成していない。各校で作成した「年間指導計画」にそって、単元・題材配当一覧表に実践記録を書き加えるなど、自校の実態に沿った教育課程づくりに努める。

文責：五泉市立十全小学校 教諭 平田 伸一